

## 平行タイプ薄型 CH70シリーズ

型式: CH71-DO,-NO,-NC CH72-DO,-NO,-NC CH73-DO,-NO,-NC CH74C CH75C

オプション: ダストカバー D-CH71 D-CH72 D-CH73 D-CH74C D-CH75C

### はじめに

このたびは、<CH70シリーズ エアチャック>をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本製品はパーツハンドリング用のエアチャックです。ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みいただきました後も大切に保存しておいてください。この製品を譲渡される場合は、この説明書を必ず添付してお渡しください。

### 安全のために

ご使用前に、この「安全のために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。ISO 4414、JIS B 8370およびその他の安全規則に加えて、必ず守ってください。

ISO 4414 : Pneumatic fluid power — Recommendations for the application of equipment to transmission and control systems.  
JIS B 8370 : 空気圧システム通則

#### 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

#### ● 注意事項

	<b>危険</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### ● 絵表示の例

	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解や修理・改造の禁止）が描かれています。
	この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

### 危険

- 次に示す用途では使用しないでください。
  - 人命および身体の維持・管理等を目的とする機器
  - 人の移動や搬送を目的とする機器・機械装置
  - 特に安全を目的とする用途への使用
- 水滴、油滴、塵埃のかかる場所でご使用になる場合は、カバー等で本体を保護するか、ダストカバーオプションをご利用ください。

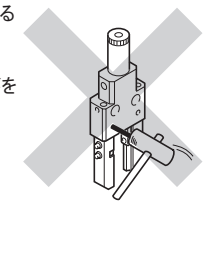
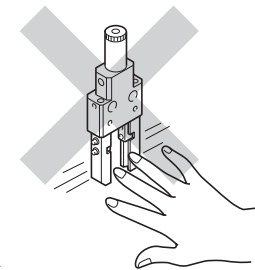
### 警告

- 次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策へのご配慮をいただくとともに、弊社に必ずご連絡くださいますようお願いいたします。
  - 「カタログ」、「取扱説明書」に記載のある仕様以外の条件や環境、屋外での使用
  - 原子力、鉄道、航空、車輛、医療機器、飲料、食料に触れる機器、娯楽機器、緊急遮断回路、プレス用クラッチ、ブレーキ回路、安全機器などへの使用
  - 人や財産に大きな影響が予想され、特に安全が要求される用途への使用
- チャックを含む、機械装置の動作中には可動部にご注意ください。また、特に人体に危険を及ぼす恐れがある場合には、保護カバー等を取り付け、安全対策を施してください。
- 停電、空気圧源のトラブルで、回路圧力が低下すると、保持力が減少してワークが落下する恐れが生じます。人体や、機械装置に損害を与えないよう、落下防止等の安全対策を施してください。
- ドレンやゴミを取り除き、清浄な空気を使用してください。圧縮空気中に含まれる不純物により、作動不良の原因となる可能性があります。エアフィルタ(ろ過度40μm以下)を設け、ドレンやゴミを取り除いてください。また、エアフィルタのドレン抜きを定期的に行ってください。
- 水滴、油滴、塵埃のかかる場所でご使用になる場合は、カバー等で本体を保護するか、ダストカバーオプションをご利用ください。
- エアチャックの本体に過大な外力・衝撃を加えないでください。また、落下させないでください。本体の破損の原因となります。
- 次に示す環境では使用しないでください。
  - 過度の振動及び衝撃の加わる場所での使用
  - 腐食性ガス、引火性ガス、化学薬品、海水、水、水蒸気の雰囲気、または附着する場所での使用
  - 周囲に熱源があり、輻射熱を受ける場所での使用
- オーバーホール以外での製品の基本構造や性能、機能に関わる分解、改造は行わないでください。
- 製品に関わる保守点検等は、供給している電源を切り、供給エアを止め、配管内の圧力がゼロになったことを確認してから行ってください。

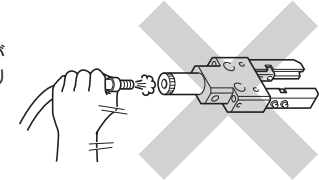
### 安全のために

#### 警告

- 使用中やエアがチャックに供給されているときは、手や指を近づけないでください。  
手や指がチャックに挟まり、骨折などの大けがをする恐れがあります。
- 使用中やエアがチャックに供給されているときに、分解しないでください。  
チャックを構成する部品が飛び散り、けがをする恐れがあります。

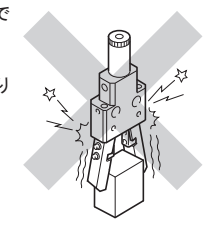


- チャックや配管の取り付けや取り外しをするときは、エアの供給を止めてください。  
エアチューブが跳ね上がった時、チャックが吹き飛んだりして、けがをする恐れがあります。



#### 注意

- チャックに供給するエアおよび使用環境に次の物質が含まれる場合は、使用できません。  
・金属、ゴム、グリスおよび樹脂などチャックの構成部品を劣化させる有機溶剤、薬品、有毒ガス、アルカリ性液、灯油など。  
チャックを構成する部品を劣化させ、破損の原因となります。
- チャックに把持力以上の力を加えないでください。  
チャックの寿命を縮め、破損の原因となります。



### 使用上のご注意

#### 注意

- 製品(特にシリンダ部)には傷、打こんなどを付けないでください。  
取り付け時のがたつきや、動作不良の原因となる可能性があります。
- フィンガーの開閉速度が必要以上に速くならないように、スピードコントローラを取り付けて、衝撃を小さくしてください。  
フィンガーの開閉速度が必要以上に速いと、フィンガーやアタッチメント(ツメ)の慣性により、ガタや破損の原因となります。
- チャックが直進や旋回運動をする時は、エアクッションまたはダンパーを使って、停止時の衝撃を小さくしてください。  
衝撃が強いと、ワークの位置ずれや飛び出しが起ります。
- 把持するワークの重量(N)は、通常使用するチャックの理論グリップ力(N)の1/10以下にしてください。  
把持力以上のワーク重量を加えると、破損の原因となります。
- 次のような使い方はしないでください。
  - ・ ワークを把持した状態で穴に圧入したり、圧入されたワークを穴から引き抜く。
  - ・ 位置公差が大きく、それに比べてすきまの小さな穴にワークを挿入する。
  - ・ 把持したワークを移動したり反転するときに、移動端でジグなどにワークを押しつける。

